好きです！にしわき わたしのふるさと

心紡いで　彩り豊かな人財の育成

～誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる　共生社会の実現に向けて～

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

教育スーパーアンバサダー・菊池省三さんが講師
「教員が学ぶ」にしわき学力向上ウィーク

市教育委員会では「にしわき学力向上ウィーク」に、教員の研修を行いました。市教育スーパーアンバサダーの菊池省三さんを講師に迎え、「読解力を育むための授業づくり」をテーマに公開授業・研修を実施。今年度は学力向上ウィークを2回行い、年間を見通して、「授業づくり」を考えます。

全教員で取り組む「授業づくり」

正確に読み取った情報を基に考え、表現する力「読解力」を育むためには、会話や話し合いが成立する「授業づくり」が必要です。教員は、目指す「授業づくり」に必要な次の5つの視点を、菊池さんの授業と研修会で学びました。

①褒めて認めて励ます教室
友達の発言を笑顔で聞き合う　など

②フォローし合う学びの集団
困っている友達をフォローし合える　など

③心の開放と人間の平等観
「一人をつくらない」学び合い　など

④考え続ける「個」の育成
周囲の目を気にせず質問できる　など

⑤学びを支え育てる基礎学力
読むこと、書くことが自然になる　など

授業や研修会は動画配信し、取り組む内容を市内全教員で共有。学びを実践し、教員全員の指導力向上を目指します。

「読解力」の育成のために

基礎的・汎用的読解力を測るため、小学6年生を対象にリーディングスキルテストを実施。また、小学6年生・中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査を、小学3～5年生、中学1・2年生を対象に市内統一学力調査を実施しました。

これらの調査結果を基に、教育委員会は西脇市の小中学生の「読解力」を把握し、子どもたち一人一人の「読解力」を育成するために教員の授業改善・研修を進めます。

◆問合せ
学校教育課（市役所内線4022）

▲菊池さん（左）の話を聞く教員。独自資料も作成して授業を実践

心のスケッチ 147
人権教育課コラム
幸福の黄色い羽根に願いを込めて

「赤い羽根」「青い羽根」「緑の羽根」――。私たちの周りでは、さまざまな色の羽根に願いを込めた運動が行われています。毎年7月には、黄色い羽根に願いを込めた「社会を明るくする運動」が全国規模で展開されます。

「社明運動」とも呼ばれるこの運動は、昭和26年にスタート。今年で71回を数える息の長い取り組みです。「犯罪や非行をなくす。過ちからの立ち直りを支える地域をつくる」ことを目指して実施する運動ですが、地域社会での認知度はあまり高くないようです。

さて、「黄色い…」と聞けば今から44年前、日本アカデミー賞をはじめ、当時の日本映画界の主演男優賞を総なめにする高倉健主演の「幸福の黄色いハンカチ」という映画を思い起こす方が多いのではないでしょうか。主人公の島勇作は、殺人罪の刑期を終えて網走刑務所から出所し、郵便局ではがきを1枚書いて出します。それは、夕張で自分の帰りを待ってくれているかもしれない、妻・光枝に宛てたものでした。

「もし、まだ俺を待っててくれるなら、こいのぼりの竿先に黄色いハンカチをぶら下げておいてくれ。それが目印だ」

夕張の街を背景に、竿に掲げた満艦飾の幸福の黄色いハンカチがはためく中、向き合い、佇む二人を映すラストシーンは不朽の名場面でした。そこには、刑を終えて立ち直ろうとする夫がこれから抱えるであろう〝生きづらさ〟を支えていこうとする妻の姿がありました。

今、新型コロナウイルスが社会にまん延しています。そのような中、感染者やその家族への誹謗中傷が全国で多発し、多くの人が大変な状況に追い込まれています。同様に、刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見や差別は根強く、社会復帰を目指す人にとって、現実は極めて厳しいものがあります。犯罪や非行をした人たちの立ち直りについて社会の理解が深まり、支える活動が広がるとき、「幸福の黄色い羽根」はその役目を終えることができます。

西脇市消費生活センター

☎22-3111（防災安全課内）

No.189

「転売ビジネスでもうかる」に注意

インターネット通販などで仕入れた商品をフリマサイトなどで販売する「転売ビジネス」に関する相談が、全国の消費生活センターで増加しています。もしもトラブルに遭った場合は、西脇市消費生活センターへご相談ください。

◆相談事例

- 「返金保証あり」と言われ、高額なサポート契約をしたが商品は売れず、返金もない。
- 誰でも稼げると聞いて高額契約したが、作業が難しく、できない。
- 「毎月50万円もうかる、すぐ回収できる」と言われたが、もうからない。
- 転売ビジネスのノウハウを教えてもらう契約をしたが、役に立つ内容ではなかった。
- 「リスクのない転売ビジネス」のはずが、フリマサイトで禁止された無在庫販売だった。

◆アドバイス

リスクなく、必ず稼げる話はありません。「簡単にもうかる」などとアピールする広告やSNSの情報、友人の話をうのみにしないようにしましょう。

あぐりコラム 27

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ　農林振興課（市役所内線2031）

被害に遭った田では、実った稲が茶色く変色

トビイロウンカから「稲」を守る

水稲を枯らす「トビイロウンカ」は「秋ウンカ」とも呼ばれ、主に6～7月に梅雨前線に向かって吹く南西風に乗って中国大陸から飛来。田植えが終わった水田で、稲の養分を根元から吸うことで繁殖する病害虫です。

トビイロウンカの体長は5㍉ほど。発見することが難しく、食害によって稲が倒れてから被害に気付くことが多いです。また、被害を受けると米の品質が下がったり、収穫量が減少したりするため、農家の大敵となっています。被害は、気温が高くて雨が少ない年に多い傾向があります。

昨年、県内ではトビイロウンカが大発生し、西脇市内の一部地域でも被害が確認されました。被害を防ぐには、

①田植え前に育苗箱に農薬をまく「予防的防除」
②出穂期前後に水田に農薬をまく「基幹防除」
③ウンカの発生状況に応じた「臨機防除」

を、適期に行うことが重要です。兵庫県などが発表する発生予察情報（右QRコード）をよく確認して、効果的に対策しましょう。

市長からの手紙 90
――西脇を元気に!!――

西脇市長　片山象三

3つのビッグニュース

西脇市にとって誇らしいビッグニュースが3つも舞い込んできました。1つ目は、西脇市が「SDGs未来都市」に選定され、菅総理大臣から認定証を頂いたこと。2つ目は、「西脇小学校木造校舎」が国の重要文化財に指定されることが決まったことです。

SDGs未来都市の選定は県内2例目、また、現役の西脇小学校木造校舎3棟の国重要文化財指定は全国3例目となります。SDGsと西脇小学校には共通点があります。SDGsとは「2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」のことで、気候変動などの環境問題もその一つです。西脇小学校のように古い校舎を復元し、使用し続けていくことはSDGsの取り組みに沿ったものと言えます。そして3つ目のニュースは、本市ご出身の住友化学株式会社・十倉雅和会長が、財界の総理とも表現される日本経済団体連合会会長に就任。同時に2025年日本国際博覧会協会会長にも選任されました。十倉会長は西脇小学校の卒業生でもあり、大阪・関西博覧会はSDGsを達成するためのプラットフォーム。西脇市にとって誇らしい3つのビッグニュースが「SDGs」でつながりました。

孫やひ孫に環境破壊のツケを回さないよう、一人一人の環境に対する心掛けが一番重要です。「元気なまち・誇りが持てる西脇市」を皆さんとともに創ってまいりましょう。

国重要文化財の指定を受ける西脇小学校木造校舎３棟(手前から)